

論点等説明シート

事業名

浮体式洋上風力発電施設の安全性に関する研究開発

担当部局庁

国土交通省海事局

事業についての論点等

○事業の背景

風力等の再生可能エネルギーについては、「エネルギー基本計画」（平成22年6月閣議決定）において、「2020年までに一次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合について10%に達することを目指す」という目標が定められている他、「東日本大震災からの復興の基本方針」（平成23年7月）においても、「地域の特性を踏まえ、太陽光発電、風力発電、～（略）～等の導入を促進する。」とされるなど、日本政府全体として風力発電を推進していく方針となっている。

一方で、我が国は、風力発電の設置に適した陸地面積が限られていることから、広大な空間と安定した風環境を有する洋上・沖合への展開が不可欠であり、かつ、水深が浅い海域が少ないことから、深い海域（50m以深）に適用可能な「浮体式」の洋上風力発電施設の普及拡大が、再生可能エネルギーの拡大に必須となっている。

しかしながら、「浮体式洋上風力発電施設」特有の技術（漂流、転覆、沈没等への対応）は世界的にもまだ確立されておらず、設計に必要な国際的な基準等も整備されていない。また、同技術を実際に日本の海域で利用するためには、台風、地震、潮流・海流等我が国固有の気象・海象条件を踏まえる必要がある。

このため、浮体式洋上風力発電施設の安全確保のために必要な技術基準及び同基準を満たすための具体的な設計手法の指針である安全ガイドラインを国が策定することにより、洋上風力発電の普及・拡大に必要な環境整備を行うとともに戦略的な国際標準化により、我が国の海事産業の振興を図るものである。

○論点（2つ以上）

- ・当初の目的を達成できたか。実際のプロジェクトにどのように反映されたのか。
- ・事業は効率的に実施されたか。